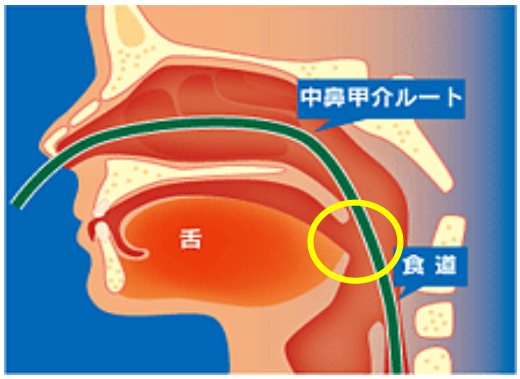
経鼻内視鏡のお知らせ

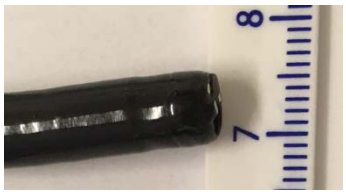
当院ではこれまで上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)は、主に口から挿入する方法で行ってきました。経鼻内視鏡用の細いカメラ(以下、細径スコープ)は、画面が暗く画質も劣っていたためです。しかし、最新型の細径スコープは、画質が大幅に改良され、通常スコープと同じような精度の高い検査ができるようになりました。

そこで、当院でも本格的に経鼻内視鏡を導入しました。
初めて胃カメラを受ける方、検査に対する不安が強い方、以前に受けた時に辛かった、という方は経鼻内視鏡をお勧めします。

＜経鼻内視鏡＞

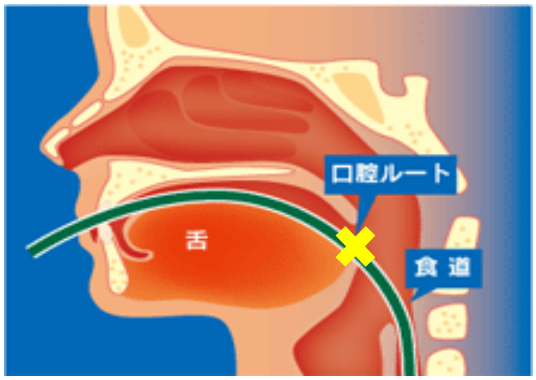


舌の付け根にあたらない

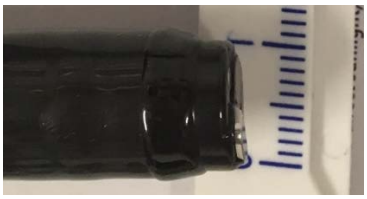


細径スコープの太さ　5.9㎜＝うどんと同じくらい

＜経口内視鏡＞



舌の付け根にあたって「おえっ」となりやすい



通常スコープの太さ　9～10㎜

カメラが喉を通る時に、舌の付け根にあたらないので、嘔吐反射が起きにくく、楽に検査を受けられます。また、検査中に会話ができて安心です。

お鼻から入れることに抵抗がある方では**「細径スコープを口から挿入する」**こともできます。この方法でも、スコープが細くなった分、喉の反射や違和感が軽くなります。
実際に、「今までは鎮静剤を使わないと苦しくて検査が受けられなかった。」という方が、**細径スコープを使ったら、「鎮静剤を使わなくてもとても楽に受けることができた。」**という方もいます。

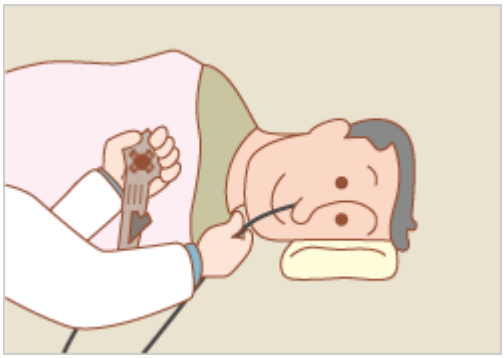
経鼻内視鏡を希望される方、また、細径スコープを口から挿入する方法を希望される方は、検査予約時に、担当医師にご相談ください。

≪経鼻内視鏡の流れ≫

① 看護師による問診
記入して頂いた問診票をもとに、アレルギーの有無などを確認します。

② 前処置
・胃の中をきれいにする液状のお薬(ガスコンドロップ®)をコップ１杯のみます。
・出血予防のため、局所血管拡張剤(プリビナ®)を鼻にたらします。
(点鼻薬といって、目薬のような感じで、鼻にぽたぽたと垂らします。)
・痛みを軽くするため、麻酔のゼリー(キシロカイン®)をお鼻に注入します。

③ 検査
通りの良い方のお鼻から、スコープを挿入して検査します。



・検査は 5～10 分程度でおわります
・会話ができます
・モニターで検査画面を見ることもできます

④ 検査後
検査後の注意事項を説明し、会計へご案内します。

≪よくある質問と答え≫

Q１　鼻血が出たり、鼻の奥を傷つけたりしませんか？
　まれに鼻血がでることがありますが、スコープで見ながら挿入していきますので、鼻の粘膜を傷つけることはほとんどありません。**ただ、検査の後、強く鼻をかむと血が出てしまうことがあるので、検査した日は、強くかまないようにして下さい。**

Q２　鼻からの内視鏡ができないケースもあるのですか？
　あります。鼻の通り道が曲がっている方や狭い方がまれにいます。
その場合は通常通り、口から挿入して検査します。

Q３　鎮静剤を使って経鼻内視鏡を受けることはできますか？
　できません。カメラが鼻を通るときに、痛くないか、確認しながら入れていきますので、**目が覚めた状態で検査を受けて頂きます。**また、経鼻内視鏡では、苦痛が軽減されていますので、鎮静剤は必要ないと考えています。